

平成 19・20 年度 JSL カリキュラム実践支援事業実施報告書【授業実践】

実施団体名【 姫路市教育委員会 】

1 学習活動の実際

(1) 活動名 化石のレプリカを作ろう	
(2) 対象児童の実態 (4人)	
A 児	第2学年 国籍(ベトナム) 母語(ベトナム語) 在籍年数(8か月)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本語の力 日常会話は簡単な内容なら理解できる。教師の簡単な指示は理解できる。</li> <li>在籍学級での学習参加の様子 見て理解できる内容に関しては参加できるが、抽象的な概念が必要な内容は理解しにくいことが多い。</li> <li>学習環境 家庭学習は頑張っているが、家族に日本語をよく理解出来る人がいないため、日本語が多く使われている内容はできない。</li> </ul>
	第3学年 国籍(ベトナム) 母語(ベトナム語) 在籍年数(1年2か月)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本語の力 日常会話はある程度できる。読み書きも何とかできるが、十分ではない。</li> <li>在籍学級での学習参加の様子 国語科以外の教科は、在籍学級で学習している。周りの助けを必要とするが、学習に対する意欲は高く、積極的に発言をする。</li> <li>学習環境 家庭での学習を丁寧にする。日本語を理解出来る家族がいて、教えてもらうことができる。</li> </ul>
C 児	第3学年 国籍(ベトナム) 母語(ベトナム語) 在籍年数(3年)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本語の力 日常や学習の場面での会話ができ、読み書きも何とかできるが、十分ではない。</li> <li>在籍学級での学習参加の様子 国語科以外の教科は、在籍学級で学習している。教科書の音読はすらすらできるが、内容は理解できていないことが多い。</li> <li>学習環境 家庭ではベトナム語と日本語の両方を使っている。宿題などは家庭ですることができる。</li> </ul>
D 児	第4学年 国籍(ベトナム) 母語(ベトナム語) 在籍年数(1年)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本語の力 日常や学習の場面での会話は何とかできる。読み書きも何とかできるが、十分ではない。</li> <li>在籍学級での学習参加の様子 教師や他の児童が言っていることはほぼ理解出来る。しかし、自分から発信することはあまりない。</li> <li>学習環境 日本とベトナムを行き来することが多く、日本語が定着しにくい。家庭では日本語が理解できる人がいない。</li> </ul>
(3) 目標	
◇【教科指導の目標】	
<ul style="list-style-type: none"> <li>化石のレプリカに興味をもち、その色や形を意欲的に観察することができる。</li> <li>体験したことや思ったことを作文にすることができる。</li> </ul>	
◆【日本語指導の目標】	
<ul style="list-style-type: none"> <li>「大きさは～です。」「色は～です。」「形は～です。」などの文型にしたがって、観察したことを表現することができる。</li> <li>レプリカ作りをして思ったことを作文にすることができる。</li> </ul>	

## 2 学習活動

指導者 指導者（日本語指導担当教員），指導補助者（日本語指導支援者）				
全体の時間数（2時間）				
段階	学習活動の状況、指導内容	活動方法	指導上の留意点	有効だった指導等 ◇教科指導について ◆日本語指導について
体験	① 恐竜や化石について知っていることを確認する。実際の化石を見て、触ってみる。	取り出し	<ul style="list-style-type: none"> <li>化石や恐竜がどのようなものか話し合わせる。ジェスチャーや絵，言葉で発表することを奨励する。</li> <li>実物の化石を示す。実際に化石を触ってみて，化石の様子を観察させる。</li> <li>観察して気付いたことを板書しておき，活動を終えた後，それを読ませる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆恐竜を知っていますか。</li> <li>◆化石を知っていますか。</li> <li>◇化石を触って気づいたことを言いましょう。</li> <li>◆大きさはどうですか。</li> <li>◆形はどうですか。</li> <li>◆色はどうですか。</li> <li>◆触るとどうですか。</li> </ul>
探求	② 石膏，油粘土のレプリカを作る。		<ul style="list-style-type: none"> <li>作り方を示す絵を用意する。</li> <li>石膏を袋から移し替えるとき，「1杯，2杯」という表現を使って数える。石膏と混ぜ合わせる水も同様に数える。</li> <li>レプリカが出来ていく様子について具体的に問いかけ，その変化に着目させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇化石のレプリカを作りましょう。</li> <li>◆スプーンで数えるときは，「1杯，2杯」と数えます。</li> <li>◇レプリカを観察しましょう。</li> <li>◆硬いですか。柔らかいですか。</li> </ul>
発信	③ 変化を観察する。 ④ 完成したレプリカに色を塗る。 ⑤ 化石のレプリカ作りでしたことや感想を書き，発表する。		<ul style="list-style-type: none"> <li>発表しやすいようにワークシートに文を書かせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇化石のレプリカを作るのに，どんなことをしましたか。</li> <li>◇感想を書きましょう。</li> </ul>

## 3 成果

- ① 対象児童に対する成果  
レプリカ作りの学習に興味をもって参加することができた。化石を触り，その様子を表現することができた。他の児童の意見や感想を聞きながら，自分の意見をまとめることができた。また，化石のレプリカを作ったことから，化石や恐竜についてもっと知りたいという意欲が生まれ，化石についての本を読む学習に発展させることができた。
- ② その他（他の在籍学級の児童や学校・保護者等学習環境に対する波及効果等）  
在籍学級の児童に，作成したレプリカを見せながら化石について説明することで，他の児童も化石や恐竜に興味をもつことができた。

## 4 課題

- 児童それぞれの日本語の力が異なるのに対し，提示したワークシートは同じだったため，高レベルの児童の日本語の力を十分に高めることができなかった。個に応じたワークシートの創意工夫が課題である。
- 化石に興味をもたせることはできたが，化石についての学習は第6学年理科の学習内容なので，直接教科学習と関連させることができなかった。もっと教科学習につながる効果的なトピックを考える必要がある。